

高知県介護福祉士会広報誌 -第15号-

発行 高知県介護福祉士会

編集 広報委員会

事務局 〒780-8567

高知市朝倉戊 375-1

高知県社会福祉協議会内

TEL 088-844-9271

FAX 088-844-9443

URL <http://kaigo-kochi.jp/>



喜怒哀楽



生活の知識を学ぼう、
そして介護の現場で生かしていこう！

高知県介護福祉士会 副会長 横山繁

平成二十四年四月より介護報酬の改定、制度改正では介護職員による痰の吸引等の新たな改正や二十四時間対応の定期巡回・随時対応サービスの創設や複合型サービスなど地域包括ケアの推進のための施策の強化が図られています。地域包括ケアでは介護福祉士や医療関係者の連携だけでなく地域全体で支える体制作りが求められています。

平成十九年度の介護福祉士養成内容の見直しの中で養成の目標として「求められる介護福祉士像」として十二項目が掲げられました。その中の第五項目には施設・地域（在宅）を通じた汎用性のある能力、第七項目には多職種協働によるチームケアが掲げられています。第一項目には尊厳を支えるケアを上げ対人援助のもっとも大切な目標としています。介護福祉士制度が誕生した昭和の終わりから平成の初めにかけて、介護福祉士の当時の仕事はオムツ交換や入浴、食事の介護など身体介護が主の業務であったところから考えると、現在の介護福祉士は予防からリハビリテーションや看取りまで、利用者の状態の変化に対応できる高度の専門性が求められています。

今年度の高知県介護福祉士会の事業・研修計画では初任者研修を始めステップアップの研修を着実に実施しています。実践の現場で生かせるように計画をしています。また、指導者を育てるために実習指導者講習会も計画し、介護の教育者を育てることも計画実施しています。又、十一月十一日の「介護の日」のイベントへの参加やホームページを通じて介護の大切さや業務に携わるすばらしさを発信しています。多くの介護福祉士の方々が自己の専門職の研鑽のために介護福祉士会への参加をして共に連携、共に学び、共に向上できたらと心から考えるものです。

介護福祉士を目指す介護者には国家試験合格のためのサポートも行っています。賛助会員であれば他の研修会への参加も可能ですし、若い介護福祉士の方には「NEXT」という若者だけの集まりで若者のニーズに応える活動を計画し、楽しんで学んでいることや研修会に参加することで発見できたり、職場での悩みを話し合ったり、介護の専門職として自分を変えるきっかけになるかもしれません。専門職としての自分のプライドを磨きましょう。

株式会社ツクイ

福祉に・ずっと・まっすぐ



医療・福祉専門のお仕事紹介！

ツクイスタッフ高知支店

TEL 088-826-2030

〒780-0870 高知市本町1丁目1-3



朝日生命高知本町ビル5F

第18回 中国・四国ブロック研修会に参加して

今年の夏は雨が降る日が多く、酷い時にはカミナリも鳴る天気の変化が多かった様に思います。そんな天気の中、九月七日・八日に香川県の高松テルサを会場に「第十八回 中国・四国ブロック研修会」が開催されました。「『明るい介護の未来を創ろう』〜楽しい介護と暮らしを支える専門職を目指して〜」というテーマで始まり、開会式の後には厚生労働省 社会・援護局 福祉基盤課 福祉人材確保対策室 主査 尾川 春香 氏から基調講演「介護福祉士を取り巻く動向」のお話がありました。その後の記念講演は、講師に茨城県立健康プラザ管理者であられる大田 仁史 氏から「尊厳を支える介護・介護福祉士の役割」という内容のお話を聞かせていただきました。

二日目は第一分科会・施設部門と第二分科会・在宅部門の二会場に分かれ、実践報告・研究発表がありました。各県から代表十人が十五分の持ち時間で発表されました。県や地域別で考え方が違っていたり、求められているサービスが違ったりしている事を知り勉強する事が出来ました。その後は会場を一つにし、「助け合うって、どういうこと」と

いう特別講演を講師 伊是名 夏子 氏のお話がありました。普段私たちが当たり前に行なっているご利用者様への声掛けなどが、本当に相応しいのかと考えられる講演でした。

最後は各県の代表が行なう「青年介護福祉士の主張」が行なわれました。高知県からは本山理事が中心となり、坂本龍馬などが介護の今後を苦悩している中、高知県介護福祉士会・青年部『NEXT』が立ち上がった事を伝えるという寸劇内容で、大きな歓声を受けていました。他県も高知同様に青年部を立ち上げたとの主張があり、今言われている介護を目指す若者の減少を少しでも改善できる働きを期待できる部になってほしいものです。

高知県からも今回の中国・四国ブロック研修会に参加してくれていた方が何人もいました。こういう研修会を糧に本物の介護福祉士になれる手助けができる高知県介護福祉士会を作っていきたいと思っております。

みんなで頑張りましょう！ (森本)



来年は鳥取県で全国大会として開催
されます。ぜひ参加しましょう！！

介護福祉士受験ワークブック2013 上・下

●B5判/352頁 ●定価2,940円(本体2,800円 税5%)
過去の国家試験の傾向や新試験での出題実績などを分析し、科目別に押さえるべきポイントを解説する。「一問一答」で理解の確認も可能。用語解説や補足説明も充実させ、試験直前までの学習を全般的にサポートする。

介護福祉士国家試験模擬問題集2013

●B5判/384頁 ●定価3,360円(本体3,200円 税5%)
介護福祉士国家試験の新試験に沿って作成した、全360の模擬問題を掲載。問題の五肢それぞれにわかりやすい解説を記載。正答にも解説があるため、知識の定着に役立つ。新設の総合問題も30問掲載！

2013介護福祉士国家試験過去問解説集

●B5判/458頁 ●定価3,150円(本体3,000円 税5%)
過去3年分の介護福祉士国家試験問題(実技含む)を収録し、解答とそれを導く考え方、学習のポイントを丁寧に解説。新カリキュラムに基づく初めての試験となった第24回にあわせ、過去問240問を新しい科目に並び替えた。最新の動向を踏まえた解説も追加。

見て覚える！介護福祉士国試ナビ2013

●A4判/264頁 ●定価2,520円(本体2,400円 税5%)
介護福祉士国試に必要な11科目を3つの領域に分類し、図表やイラストを多用しながら「大枠」をつかめるように解説。「勉強する時間がない」という多くの受験者に向けて【記憶に残る整理の仕方】と【記憶に残る覚え方】をキーワードに効果的な勉強法を指南する。

第二回 介護指導・相談会

福祉用具展示会を開催しました！



九月一日(土)に、介護指導相談会福祉用具展示会をふくし交流プラザにて開催しました。
 今年は多くの介護・福祉関係者はもちろん、一般の方々にもご来場いただくことができました。同時開催した講習会では、腰痛予防や事故防止のためリフトを利用した移乗の仕方や、オムツの選び方、正しい当て方など、出展企業のスタッフによる講習が行われこちらも大変好評でした。(事務局)

こんな商品を表示・ご紹介 させていただきました♪



使い捨て清拭タオル
「ミニバックタオル」
 クッション性とボリューム感があり拭き心地満点のタオル。大、中、小と3つのサイズがあるので、清拭箇所(手指、顔、上半身、下半身など)によって

上手に使い分けることができます。
 (出展：ミニバック株式会社)

床走行型リフト **「介護リフトつるペー 床走行タイプ Y2/Y3 セット」**

介護者、要介護者両者の負担を軽減しながら安全に移乗動作を行える介護リフトは、高齢社会を支える重要なアイテムです。
 今回ご紹介の床走行リフトは、キャスターで床を移動できるので、一台で複数の場所での使用が可能です。
 (出展：株式会社メディプレスト)



平成二十四年度

第二回バリデーションケア研修会

九月一六日(日)十時〜十四時、前回「基礎編」の研修に引き続き、公認日本バリデーション協会 認定バリデーションティーチャー 岩村 和子 氏を迎え、第二回「理論編」が朝倉福祉交流プラザで開催され、受講生四十九名の参加がありました。

今回は認知症高齢者に尊厳と共感を持つて関わることとして、目の前の症状に目を向けるのではなく、高齢者の言動には必ず理由があり、行動の裏にある理由が何かを考えること。行動が理解できなくとも、一方的に判断せず、表出されていない心に耳を傾け、その思いに共感し否定しない、というバリデーションの原則に基づき、コミュニケーション手段についてロールプレイを中心に実践方法を学びました。

研修後のアンケートでは「ロールプレイが楽しかった」「ロールプレイを通して理屈ではなく「感じる」「感じ取る」ことの必要性を学んだ」「演習が多く、実際にすることで、すぐく身に入りやすかった」「認知症の段階がロールプレイによってよく分かった」などの感想が多くありましたが、中には「業務の中でつい流されてしまいがち」という介護現場における援助者としてのジレンマに対する感想もありました。
 認知症高齢者数は今後更に増加すると言われています。今回の研修で学んだことを実務に活かせることで、より良いケアにつながればと思います。(南場)

※第三回バリデーションケア研修会は、十二月十六日に開催予定です。



ペアになったの演習の様子。皆さん熱心に取り組まれました。

有限会社 ケアサポート

乗降介助の認可がおりています！

介護タクシー「青いくじら」

ヘルパー2級養成講座を受けてみませんか？
 興味のある方、ぜひお問い合わせください。
 その他研修も企画中です！

お問い合わせはこちらまで

088-831-0110 担当 海地(うみじ)



(前)ケアサポート

NEXT活動報告

九月二十九日(土)、NEXT第二回勉強会を開催しました。

今回は施設見学、講義、意見交換会という内容で、参加者九名で学びを深めました。

まず、土佐清風園の中澤園長より、施設概要のお話があり、実際、施設内を見学させてもらいました。広い施設で、ご利用者の方々が思いの生活をされており、落ち着いた印象を受けました。職員の方からの挨拶も笑顔で好印象でした。

見学後、「介護福祉士会の歴史と現状」ということで、佐井会長より今までの当会の歴史と認定介護福祉士について、介護キャリアア段位制度の動向についての話がありました。今後の自分たちを取り巻く状況を学ぶいい機会になりました。

最後に「接遇について」というテーマで参加者と討議し、面会のご家族の方への対応、マンナー指導をどう担っていくか、等活発な意見交換会ができ、とても有意義な勉強会となりました。(本山)



ご存じですか？

インフルエンザについて



朝晩寒さを感じる季節となりました。そして、感染症に気を付けなければいけない時期でもあります。今回は毎年、猛威をふるうインフルエンザについて少しお話します。

インフルエンザはインフルエンザウイルスによって引き起こされる感染症です。流行時期は毎年変わりますが通常十一月頃からといわれます。潜伏期間は一日〜三日間で感染力も強く、集団感染の恐れがあります。症状としては典型的なもので高熱、頭痛、筋肉痛、全身倦怠感などの全身症状と同時に咳や咽頭痛などの呼吸器症状が現れます。

感染経路は飛沫感染、空気感染、接触感染が言われます。予防としては、予防接種などがあります。介護を提供する私たちは、インフルエンザなど感染症にかからないように日頃より気を付けておかなければなりません。

万一、発症された場合は、早期の治療と自分自身が感染源にならないことが基本となります。また、インフルエンザに限らず、日頃より手洗い・うがいの徹底が重要になります。

日々の健康管理に気をつけ、自身も利用者さんも健康にこの冬を過ごすことができるようにしましょう。(岩崎)



私たちにしかお手伝いできないこと。

Our pride ≡ Dynamic Action

Arising happiness

社会も企業もそれを構成するのは「人」。
雇用環境の整備をとおして、
人への環境を良くすることが、大きな喜び。

総合人材サービス
WORK STAFF

(株)ワークスタッフ

高知営業所 高知市北本町4-5-33

0120-09-3719

<http://www.ws-gp.co.jp/>

高知県内の施設・事業所の紹介

医療法人土佐楠目会

サービス付き高齢者向け住宅 フルハウス うぶすな

フルハウスうぶすなは、サービス付き高齢者住宅として高知県ではじめて承認を頂きました。香美市土佐山田町の閑静な住宅地に位置し、近くには病院やスーパー、商店街もあり自由に探索できます。全館・全室バリアフリー、オール電化、非常災害設備、緊急通報設備を完備しており地震や津波の心配もありません。全室一部屋当たり25㎡以上あり、ゆったりとした部屋で生活ができます。二十七八部屋と小規模の住宅ですが、和気あいあいとした雰囲気、なか、それぞれが思い思いの生活を楽しまれております。食事は一食から注文でき、特別食の提供も可能になっております。

入居対象は、六十歳以上の元気な高齢者の方から入居できます。要支援から要介護の方も在宅サービスを利用しながら生活が可能と判断される方は、介護保険サービスの通所サービスや訪問サービスを利用しながら生活をさせていただきます。

グループ法人では、介護施設や介護事業所を多数運営しておりますので、入居後の介護や医療面についての相談やサポートさせて頂きます。なお若干の部屋の余裕もあります。三百六十五日いつでもご相談・ご見学できますのでお気軽にお立ち寄りください。



住所：

高知県香美市土佐山田町

百石町一丁目二二一

電話：

〇八八七―五三一―二二二五

株式会社 花陽

デイサービス 房

小規模の民家型デイサービスです。定員は十名、「自然に暮らしたい」と思っておられる「要支援」・「要介護」の方々の「その人らしい生活」をご支援させて頂いています。

平成十八年七月に開設したデイサービスで、二十三年七月に名称変更しました。

猫の額ほどの畑での収穫や、四季時期の散策、少しの遠出、買い物や外食などは、小規模ならではの少人数で動けるため、臨機応変の対応ができ、喜ばれています。

ご利用者様に応じ、介護保険外でのご利用も可能となっております。

「房」の名物の一つは「催し」がある度、職員の「体（肉体？）を張った「出し物」です。「工夫を凝らし」「恥を顧みず」「思い切った演技」で、ご利用者様やご近所の方々も楽しみにしてくださる行事となっております。

職員は六名で、平成二十年から同じメンバーの職員で支援をしていますので、すっかり「馴染み」になっていますが、「慣れ」にはならないよう、気を引き締めながら支援させて頂いています。

近くまでお越しになる機会があれば、ぜひお立ち寄りください。



住所：

高知市鴨部一〇三八―一

電話：

〇八八―八三二―〇五三二



ふるる ぱりん状介護食

- ・飲み込みが困難な方に
- ・口腔炎症のある方に
- ・リハビリのステップアップに
- ・栄養状態の改善や水分補給に

そふ菜（右写真）

スプーンでつぶせるやわらかなお惣菜形はそのまま保ちながら、歯茎でつぶせます。見た目にも食欲がわき、『食べる楽しさ』を味わっていただけます。



有限会社アオイコーポレーション

高知県香美市土佐山田町百石町 1-14-9

TEL 0887-52-3563 FAX 0887-52-3766

